



せいかつ

きょうの一品

大根のカクテキキムチ

◇材料(2人分) 大根 8匁(200g)、ニラ $\frac{1}{2}$ 束(20g)、長ネギ $\frac{1}{4}$ 本、ニンニク、ショウガ各1片、甘酒 $\frac{1}{2}$ 缶(95g)、塩こうじ、粉トウガラシ

◇作り方

①大根は皮をむき2匁角のサイコロ状に、ニラは1匁幅に切り、ネギはみじん切り、ニンニク、ショウガはすりおろす。

②ボウルにニラ、ネギ、ニンニク、ショウガ、甘酒、塩こうじ大さじ1.5、粉トウガラシ大さじ1を混ぜあわせキムチの素を作る。

③ビニール袋に②と大根を加え良くもみ込み、半日ほど冷蔵庫で味をなじませてからいただく。

◇メモ 残ったキムチの素は豚肉を漬けて焼くほか、野菜炒めの調味料にしてもおいしいですよ。

=1人分101 $\frac{1}{2}$ kcal、塩分0.9g (後藤るみ子)

がんを防ごう

北大病院が4月4日から外来で始める「がん遺伝子検査」は、がん患者が持つがん関連のいくつもの遺伝子に生じた変化を一度に調べて、個々の患者に最も適した治療薬の情報を提供する、最先端のがん医療サービスです。19日に北大で開かれたシンポジウムでは、この検査を昨年4月、日本で初めて導入した京都大病院の武藤孝教授や金井雅史特定准教授らが現状などを報告しました。

遺伝子変化 一度に検査

北大病院 外来、来月4日から

効果が期待できる何らかの治療薬の情報が見つかりました。一方、有用な治療薬の情報が見つからない患者もいました。

その後、実際に治療を受けたのは検査を受けた人の3割弱でした。内訳は保険診療の薬が9人、自費診療の薬が9人、国の承認を得るために効果や安全性を調べる治験の薬が3人だったといっています。

京都大では検査結果が出るまで5週間かかり、この間に病状が悪化し、薬が見つかったも治療が受けられなくなりました。

一方、北大病院の西原広史特任教授は、北大病院が4月に開設する「がん遺伝子診断外来」で始める検査の特徴を紹介しました。

最適な治療薬の情報提供

北大病院がん遺伝子診断外来が提供する検査は3種類

検査対象の遺伝子数	24	160	210
検査に要する最短期間	2週間	2週間	5週間
検査料金(予定)	約40万円	約73万円	約101万円

(北大病院のホームページから抜粋)

北大病院のホームページによると、がん遺伝子診断外来の概要は次の通り。

▼対象 がんを診断された人か、がん治療を受けている人

▼検査費用 調べる遺伝子の数に応じ、検査は3種類ある。健康保険が使えないため全額患者負担＝表一。治療費は含んでいない

▼受診予約 診療中の医療機関から紹介・予約が必要。まず主治医に相談を

▼問い合わせ先 北大病院がん遺伝子診断部 ☎011・706・7778

◇おいつわり 「花すがた」は休みました。